

常に提案を忘れない  
『創造企業』  
それが昌和です。



昌和輸送機株式会社

# 常に提案を忘れない『創造』



▲栃尾工場

## ご挨拶

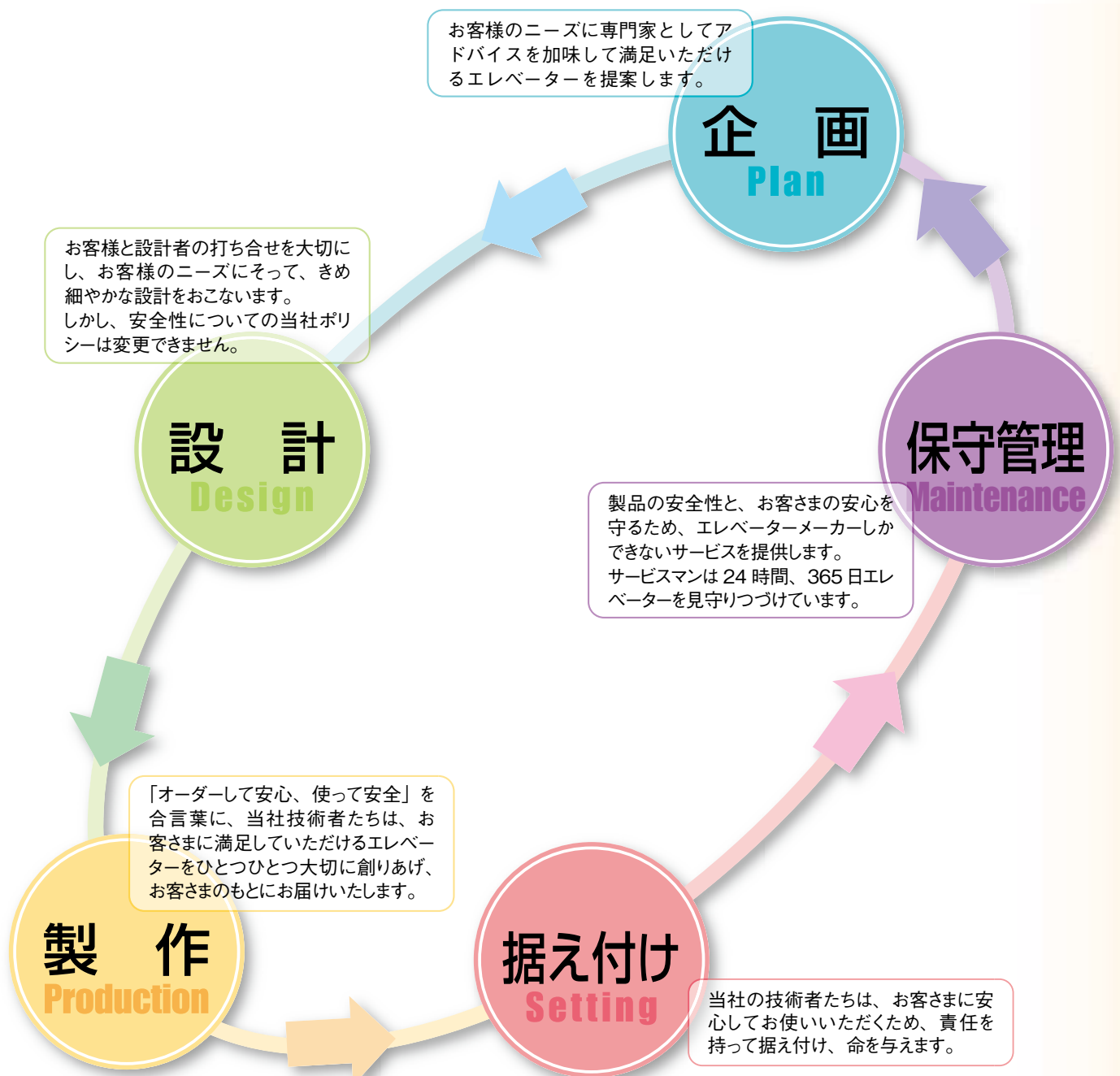
当社は物を創り出す『創造企業』です。既成の商品を販売するだけではなく、お客様と共に知恵を出し合い、提案し毎回新しい付加価値を追及していく技術企業なのです。事業基盤を各種エレベーターにおいて、そこで育んだ電気回路を中心とする専門的なノウハウを幅広い分野に応用しています。舞台装置、クレーン、コンベヤ、駐車場装置、車両移動装置などなど。創造の喜びと技術者としての誇りをお客様への満足の提供に反映させていくべく、今後とも常に最先端の技術を自らに取り込みながら練磨してまいります。何卒宜しくご愛顧の程、お願い申し上げます。



代表取締役 九里昌己

# 企業』それが昌和です。

当社は、一貫生産体制（企画、設計、製作、据え付け）と保守管理体制とを自社内に構築している国内では数少ない企業です。お客さまに最後まで責任を持ってお答えするという基本方針のもと、40年間、国内一貫生産体制を維持しつづけており、今後もその方針は変わりません。だからこそ当社は「どんなときも」、「どんなことにも」迅速で丁寧な対応ができるエレベーターメーカーであると自信をもってお約束します。



## 企画 Plan

### 企画段階から専門チームとしてご相談に応じます。

乗用エレベーターであれば定員の設定や、速度、防犯装置の備え付けなど、また荷物用エレベーターであれば、積載容量や制御方法(大別してロープ式と油圧式)の決定など、設計に入る前に検討しなければならない要因は数多くあります。昌和輸送機では、この企画段階から、専門の営業スタッフ及び専門技術者が貴社のご相談にのります。昭和26年の創業以来、関東各県を中心に誠意ある仕事をこなしてきた実績は、ありとあらゆるケースのエレベーター装置に最善の技術、製品をご提供できる自信となっています。是非、社内でのご検討段階から、お声をかけて下さい。



## 設計 Design

### ありとあらゆる要素を考慮した設計。腕の見せ所。

昌和の技術者は、エレベーターに関する深い知識・ノウハウと同時に建設物の構造や、電気配線の仕組みについても専門家です。貴社のご要望を網羅した上での設計は慎重に、前途のさまざまな要素を計算して行われます。

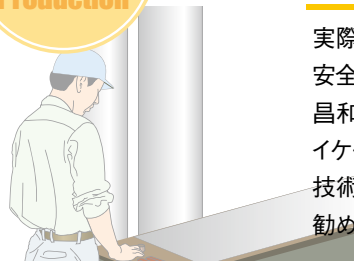
無論、この段階でもお客様から、追加のご要望があれば、取り入れた形でのご提案を模索していきます。安全性を最優先させることが大前提。



## 製作 Production

### 卓越した技術力は長年の間錬磨を重ねたもの。

実際の製作においても自社工場(川口・栃尾)で全面的に責任をもって当社が担当します。社内に安全性と性能をチェックする試験研究施設が完備していますから、納入後のトラブルは避けられます。昌和の特徴は、営業スタッフと技術スタッフ間のコミュニケーションが密に行われること。ケースバイケースで様々なお客様のニーズをお伺いする営業と、日進月歩で進歩を遂げるこの業界の最新技術を見つめ続ける技術者との共同作業でできあがる製品であればこそ、絶対の自信をもってお勧めできるのです。各種部品メーカーからの情報収集も怠りません。



#### ◀◀荷物用エレベーター

工場・倉庫用、あるいは商業ビル用、そしてフォークリフトを使用する特殊仕様のもので、幅広く開発・製作いたします。

## 保守管理 Maintenance



### 保守管理にもプロの技術者の腕と目が光ります。

エレベーターを設置した時点から、また新しい責務が私たちには課せられます。それは、昌和が自信をもって納入させて頂いた製品が、常に最高の状態で働き続けるように保守点検を繰り返すことです。定期的な点検において、プロの目で、異常があれば逸早く察知し、事故を未然に防ぐことは、製品を完成させることと同様に大切な企業使命です。

## 据え付け Setting



### ロケーションとニーズに合わせたオーダーメイド。

配線状態、環境テスト、通電、運転試験など数々のチェックを繰り返して、据え付け作業に入りますが、完全に技術者が納得いくまでの現地チェックを行います。企画・設計の段階では気づかなかった細かい部分の問題が万が一、もちあがってもベテランの技術者が万全の体制で臨んでいますから、仕上げは完璧。工場、流通倉庫、百貨店、配送センター、飲食店など応用される建築物は多種多様ですが、どんなロケーションであっても流通機能を最大限に活かされるように、細心の注意をはらって設置致します。安全性と効率の極みを実感して下さい。

## その他、確かな技術力にうらづけられた商品群。



### ◀▲カーリフト（自動車用エレベーター）

ビルの屋上や地下の駐車スペースへ車をスムーズに移動させます。安全でしかもコスト面からも自信をもってお薦めできる設備です。



### 本 社

東京都中央区日本橋本町4丁目4番11号(永井ビル)  
〒103-0023

TEL 03(3242)1188 FAX 03(3242)3338

### 埼玉支店・川口工場

埼玉県川口市青木4丁目18番55号 〒332-0031

TEL 048(255)6100 FAX 048(255)6329

### 新潟支店・見附工場

新潟県見附市今町8丁目6番2号 〒954-0111

TEL 0258(66)6788 FAX 0258(66)3338

### 東北支店

宮城県仙台市青葉区堤通雨宮町2丁目8番 〒980-0914

TEL 022(275)1415 FAX 022(275)5475

### 栃尾工場

新潟県長岡市上樫出1611番地 〒940-0116

TEL 0258(52)3388 FAX 0258(53)3338

### 宇都宮営業所

栃木県宇都宮市若草3丁目10番7号 〒320-0072

TEL 0286(25)2876

### 札幌営業所

北海道札幌市白石区平和通16丁目北8番18号 〒003-0027

## 子会社

### 株式会社 昌 和

埼玉県川口市青木4丁目18番55号 〒332-0031


TEL 048(255)6100 FAX 048(255)6329

### 四国昌和輸送機(株)

香川県善通寺市吉原町356番1号 〒765-0061

TEL 0877(56)5651 FAX 0877(56)5652

## 会社概要

社 名	昌和輸送機株式会社	 <p>▲見附機械工場</p>
代表取締役	九里 昌己	
創 業	昭和26年4月1日	
資 本 金	授權資本金 96,000,000円 払込資本金 24,000,000円	
所 在 地	東京都中央区日本橋本町4丁目4番11号 永井ビル	
建設許可業	建設大臣(般)第14836号	
エレベータ 製造許可	新基第358号(ロープ式エレベーター) 新基第365号(油圧式エレベーター)	
認定番号	型01Gdd000053	
建築士 事務所	昌和輸送機株式会社一級建築士事務所 東京都知事登録第47451号	
加入団体	社団法人日本エレベーター協会会員 / 東京エレベーター工業協同組合組合員 社団法人東京建築士会賛助会員	
主要取引銀行	みずほ銀行 神田駅前支店 / 東日本銀行 神田支店 / 三井住友銀行 赤羽支店 / 北越銀行 今町支店	
営 業 科 目	エレベーター・大型エレベーター・カーリフト・ターンテーブル・小荷物専用昇降機 電動台車各種搬送機・舞台装置等の企画、設計、製作、現場据付工事、保守管理	

<http://www.showa-yusoki.co.jp>

## 沿革

- 昭和 26 年 4 月 九里組創業  
富士輸送機工業（株）（現フジテック（株））、日本エレベーター工業（株）（現シンドラーエレベーター（株））を主要先とするエレベーター据付請負業として創業
- 昭和 36 年 2 月 （株）昌和輸送機工業所設立  
東京都千代田区神田福田町にてエレベーター等の据付請負ならびに保守を主力事業として法人化
- 昭和 37 年 5 月 昌和輸送機（株）に改組および商号変更  
資本金 1,000,000 円
- 6 月 東北支（仙台市）開設
- 昭和 40 年 3 月 （有）昌和製作所設立  
埼玉県川口市にて巻上機の加工、組立を主力事業とする子会社として設立
- 昭和 41 年 7 月 資本金 3,000,000 円に増資
- 昭和 42 年 11 月 川口第 1 工場（埼玉県）新設  
巻上機加工、組立工場。巻上機自社製作開始
- 昭和 46 年 10 月 資本金 9,000,000 円に増資
- 昭和 47 年 7 月 資本金 12,000,000 円に増資
- 昭和 48 年 1 月 食品工場向け全自動荷積、荷下ろしエレベーター開発、一号機納入
- 昭和 60 年 4 月 宇都宮営業所開設（保守メンテナンスサービス栃木県の拠点）  
7 月 資本金 24,000,000 円に増資
- 昭和 51 年 4 月 台湾にエレベーター本体および巻上機輸出開始  
台湾のエレベーター製造メーカーへの技術指導と育成を開始。今日の同国エレベーター業界の礎となる
- 9 月 川口第 2 工場新設  
第 1 エレベーター試験棟を併設する制御盤製造工場。制御盤自社製作開始
- 10 月 他社に先駆け「帰還制御式エレベーター」を開発
- 昭和 53 年 9 月 （株）昌和設立  
埼玉県川口市にてエレベーター、ダムウェーターの製造および据付、販売を事業とする子会社として設立
- 昭和 54 年 8 月 東北支店（仙台市）閉鎖、東北 6 県の商権を昌和輸送機東北（株）に譲渡
- 昭和 55 年 10 月 病院向けワゴン配送システム付エレベーターの開発、一号機納入
- 昭和 62 年 10 月 川口第 3 工場新設  
工事部門専用工場兼倉庫
- 平成 元年 11 月 栃尾事業所（栃尾工場）開設、板金を中心とする製造部門を移管  
事務所棟、第 1 工場（現第 6 工場）、倉庫（現第 4 工場）
- 平成 4 年 7 月 栃尾第 2 工場（現第 1 工場・カゴ床・柱等製造工場）新設
- 平成 5 年 7 月 見附機械工場開設（巻上機加工、組立工場）
- 平成 7 年 3 月 油圧技術と電気制御技術の応用製品として、鉄道会社向け車両修理用自走仮台車を開発、一号機を納入  
7 月 本社を千代田区神田から中央区日本橋本町へ移転  
10 月 見附機械工場移転、近隣に土地購入し見附機械工場新設および同工場内に新潟支店開設
- 平成 8 年 1 月 回転装置付車両用エレベーターの開発、一号機納入  
12 月 栃尾第 3 工場新設（経路内鋼構造物の切断、加工および溶接工場）
- 平成 10 年 4 月 四国支店開設  
4 月 四国昌和輸送機（株）新設  
四国、中国地区における据付、販売ならびに保守を事業とする子会社として設立  
4 月 インバーター方式油圧エレベーターを開発、販売開始  
10 月 栃尾工場、現第 6 工場内に第 2 エレベーター試験棟新設
- 平成 12 年 3 月 東北新幹線車両向け自走仮台車を開発、第一号機を納入  
8 月 見附機械工場売却、近隣に土地、工場購入し見附工場を新設。新潟支店同所に移転  
9 月 見附工場内に第 3 エレベーター試験棟新設
- 平成 13 年 3 月 （株）昌和を存続会社として（有）昌和製作所を吸収合併  
新資本金 8,500,000 円
- 平成 14 年 4 月 マシンルームレス・エレベーターを開発、販売開始
- 平成 15 年 1 月 油圧ダブルダイレクト方式エレベーターを開発、販売開始
- 平成 16 年 8 月 四国支店閉鎖  
10 月 設計開発、販売、据付ならびに保守を昌和輸送機（株）、製造を（株）昌和と両者の業務を区分し、重複業務を削減
- 平成 17 年 4 月 ヘリカルギアマシンの製作開始
- 平成 18 年 3 月 社債（私募債・50 百万円、3 年、みずほ銀行）発行  
7 月 栃尾第 2 工場新設（カゴパネル、ドア等製造工場）。生産能力の大幅アップを実現
- 平成 19 年 4 月 軸荷重 24,000kg 型ヘリカルギアマシンの製品化と販売の開始  
9 月 東海道山陽新幹線向け自走仮台車 20 台納入



# 昌和輸送機株式会社

## 企画・設計のお問い合わせ窓口

昌和輸送機株式会社

埼玉支店

TEL 048(255)6100(代)  
FAX 048(255)6329

新潟支店

TEL 0258(66)6788(代)  
FAX 0258(66)3338

## 保守管理のお問い合わせ窓口

昌和輸送機株式会社

本 社

TEL 03(3242)1188(代)  
FAX 03(3242)3338

新潟支店

TEL 0258(66)6788(代)  
FAX 0258(66)3338

<http://www.showa-yusoki.co.jp>